

SMARTWIZ+

art

ご使用前にご確認ください

重要な使用上のご案内

バッテリー、Wi-Fi、E Ink表示の特性について

SMARTWIZ+ artは、一般的なデジタルディスプレイとは動作や考え方が異なります。

本ガイドでは、安心してお使いいただくための重要なポイントをまとめています。



SMARTWIZ+ artの状態はアプリのホーム画面で確認できます。

SMARTWIZ+ artの状態は、アプリのホーム画面で確認できます。ここではフレームの動作モードや、更新タイミングを確認できます。

① スリープモード（通常）
バッテリー駆動時は、フレームはほとんどの時間をスリープ状態で動作します。
このとき Wi-Fiは通常オフになっています。

② 自動チェック
スリープ中でも、1時間に1回インターネットに接続し、新しい画像やメッセージがないか確認します。

③ アクティブ（オンライン）
フレーム本体のボタンを押すと、約1分間Wi-Fiがオンになりオンライン状態になります。

すぐに画像を更新したい場合

以下の手順で更新をすぐに反映できます。

1. アプリを通じて画像を送信します。
2. フレーム本体のボタンを押してください。
3. フレームはすぐにWi-Fi接続されて画像が表示されます。

何も操作しない場合でも、次の自動チェック（約1時間後）に更新されます。

ヒント
Wi-Fiに繋がるとLEDは緑色でゆっくりと点滅します

SMARTWIZ+ artとはどのような製品ですか？

SMARTWIZ+ art は、額装された絵、イラストやポスターのように、穏やかで自然な雰囲気の中で、1枚のアート作品を楽しみたい方のために設計されたE Ink（電子ペーパー）ディスプレイです。

従来のデジタルフォトフレームとは異なり、SMARTWIZ+ art は 持続的な動きや鮮やかな発色、速い切り替えを目的としていません。

代わりに、次の3つの特長を大切にしています。

1. 紙のような表示体験（E Ink 技術）

周囲の光を反射して表示するため、眩しさがなく、長時間見ても目が疲れにくい表示です。

2. 1枚の作品に向き合うための設計

スライドショーやアニメーションはあえて採用せず、1枚の作品を静かに楽しむ体験を重視しています。

LCDフレームとの主要な相違点

- ❌ 動画やアニメーション表示を目的としていません
- ❌ 鮮やかなバックライトカラー表示を重視していません
- ✅ 静止画を落ち着いて鑑賞するために設計されています
- ✅ 消費電力を抑え、長時間のバッテリー駆動を実現しています

常時アニメーションや頻繁な切り替えを行うデジタルフォトフレームをお探しの場合、本製品は適していない可能性があります。

画像を送りましたが、すぐに更新されません。

SMARTWIZ+ artは、超低電力動作を実現するために設計されています。そのため、電源状態によって動作が異なり、バッテリー使用時はすぐに更新されません。

- Wi-Fiは通常無効になっています。
- 本品はほとんどの時間、深いスリープモードにあります。
- この設計によってバッテリーの寿命が大きく延びました。

ただし、スリープ状態でも

フレームは約1時間ごとに自動的に起動し、Wi-Fiに短時間接続してクラウドを確認します。

- 新しい写真
- メッセージ内容
- システムの更新

新しいコンテンツが見つかったと、自動的にダウンロードされて表示されます。

この動作は意図的に行われており、長いバッテリー寿命を維持しつつフレームを最新の状態に保つことが可能です。

E InkとLCDの違い（色の見え方について）

E Inkディスプレイは、一般的なLCDディスプレイとは表示の仕組みが異なります。

機能	LCD（液晶）	SMARTWIZ+ art
バックライト	あり	なし
カラーモード	明るく彩度が高い	ソフトで紙に印刷された感じ
動画	スムーズ	対応していません
電力消費	常に消費	ほぼゼロ、更新時のみ消費

E Inkはバックライトを使わず、紙のように周囲の光を反射して表示します。

そのため、スマートフォンやテレビとは異なり、やわらかく落ち着いた質感でアートを楽しめます。

アプリのギャラリーでは、E Inkの色表現に合わせて最適化されたプロのアーティスト作品を提供しています。

紙に印刷されたような自然な美しさを、ぜひお楽しみください。



E Inkに適した作品

- イラストレーション
- 絵画作品
- シンプルな写真
- コントラストがはっきりした作品
- Galleryで提供されるE Ink向けに最適化された作品

画像更新がすぐに反映されない理由

電源に接続せず、バッテリーで動作しているためです。

- Wi-Fiは通常オフ
- フレームはほとんどの時間スリープ状態
- 1時間ごとに更新チェック

この仕組みにより、バッテリーを長く使用できます。

表示に時間がかかる理由

SMARTWIZ+ artは、一般的な液晶ディスプレイではなく、電子ペーパー（E Ink）ディスプレイを使用しています。

電子ペーパーは、画面の中にある微小なカプセル内の顔料粒子を電氣的に移動させて画像を描画する仕組みです。

この仕組みにより、紙に印刷されたような自然な表示と非常に低い消費電力を実現していますが、液晶ディスプレイのように瞬時に画像を書き換えることはできません。

この処理には約16秒かかりますが、これは電子ペーパーの正常な動作によるものです。

更新アクションの概要

SMARTWIZ+ art の更新タイミングは、電源状態と Wi-Fi 接続状態によって変わります。

電源の状態	Wi-Fiの状態	更新速度
プラグイン	常に接続	すぐに
バッテリー（省電力モード）	ほぼオフ	最大約1時間
バッテリーとボタン	一時的に有効	すぐに

初回セットアップや頻繁に更新する場合は、フレームを電源に接続した状態での使用をおすすめします。

SMARTWIZ+ art はスライドショーに対応していますか？

いいえ。SMARTWIZ+ art は連続スライドショーをサポートしていません。

これは意図的な設計です。
電子ペーパーは描画に時間がかかるため、スライドショーの様な使い方はできません。加えて頻繁な画面更新を行うとバッテリー消費が増えます。
一方で1枚の画像を長時間表示する「アートフレーム」の使い方では電力はほとんど使用しません。

イベント表示：特別な日に画像を表示する

SMARTWIZ+ art では、特定の日付に画像を表示するイベント表示機能を利用できます。
アプリから以下のようなイベントを設定できます。

- 誕生日
- 記念日
- 祝日
- 特別なメッセージ表示

イベント表示の仕組み（重要）

イベント設定日になると自動的に設定された画像がクラウドからダウンロードされてアートフレームに表示されます。表示された画像は、次の更新が行われるまでそのまま表示されます。



サポート情報をもっと得る

ご利用のヒント

SMARTWIZ+ art は、バックグラウンドで効率よく動作するように設計されています。
一般的なデジタルディスプレイとは異なり、電子ペーパーの特性を活かして静止画像を長時間美しく表示することを目的としたデバイスです。電源やWi-Fi、更新の仕組みを理解することで、SMARTWIZ+ art をより快適にご利用いただけます。

サポートに連絡する前に確認してください。

問題が解決しない場合は、まず次の点をご確認ください。

- フレームはバッテリーで動いていますか、それとも電源に接続されていますか？
- フレームは現在スリープモード（通常の動作）になっていませんか？
- バッテリー残量は十分ですか？ホーム画面で確認できます。
- フレームのボタンを押して、一時的な Wi-Fi 接続を開始してみましたか？

多くの場合、これらを確認することで問題が解決します。

オンラインサポートおよびトラブルシューティング

最新のサポート情報は、公式サポートサイトでご確認いただけます。

- よくあるセットアップの問題と解決方法
- メッシュWi-Fi環境での接続方法
- 動作に関する設定ガイド
- よくある質問（FAQ）

最新情報にアクセスするには、右のQRコードをご利用ください。

サポート動画

視覚的に操作方法を説明するサポート動画もご用意しています。
動画では次の内容を紹介しています。

- 初期設定の手順
- Wi-Fiおよびメッシュネットワーク設定のヒント
- 画像更新の仕組み
- イベント表示機能の使い方

右のQRコードから、YouTube公式サポート動画をご覧ください。

サポートチーム一同、皆様がSMARTWIZ+ artを楽しんでもらえるよう願っております。

メッシュ Wi-Fi の設定で問題がありますか？

一部のメッシュWi-Fi環境では、初期セットアップがうまくいかない場合があります。
これは、最新のメッシュWi-Fiシステムが端末同士の直接通信を制限する設計になっている場合があるためです。
その場合、次のような問題が発生することがあります。

- デバイスがスマートフォンから見つからない
- Wi-Fi設定が途中で失敗する
- セットアップが完了しない

これはフレームの故障ではありません。

推奨される解決策: モバイルホットスポット（テザリング）

最も簡単な方法は、スマートフォンの モバイルホットスポット（テザリング） を使う方法です。

- スマートフォンでホットスポットまたはモバイルテザリングを有効化する
- ホットスポットが2.4GHzを利用していることを確認してください（設定可能な場合）。
- アプリでSMARTWIZ+artのセットアッププロセスを開始する。
- セットアップでテザリングのSSIDを入力または選択をする。
- ホットスポットに接続したままでペアリングを完了させます。

セットアップが完了した後は:

- アプリからフレームの設定を開き、Wi-Fi設定をタップします。
- 「編集」をタップし、ご使用になりたいSSIDをを入力または選択し変更を完了させてください。

モバイルテザリングは非常にシンプルなネットワークで、スマートフォンとアートフレームを同じネットワークに設定します。そのため、スマートフォンとアートフレームのペアリングが容易に成功します。

重要な事項

SMARTWIZ+ art は一般的な Wi-Fi ネットワークで動作するよう設計されていますが、一部のメッシュWi-Fi環境ではセットアップ方法が異なる場合があります。

これは製品の不具合ではなく、ネットワーク構成による影響です。



このページは意図的に空白です。